

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県パラスポーツ大会春大会開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2622)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,890 千円 (前年度予算額： 2,890 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,890	1,445	0	0	0	0	0	0	1,445
要求額	2,890	1,445	0	0	0	0	0	0	1,445
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

障がい者の社会参加の推進とパラスポーツ振興を目指し、身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいを対象とした岐阜県パラスポーツ大会春大会を開催する。

(2) 事業内容

①岐阜県パラスポーツ大会春大会の開催

<春大会(全国障害者スポーツ大会の個人競技予選会)>

(身体・知的・精神)卓球、(身体・知的)陸上、(身体・知的)水泳、(身体・知的)フライングディスク、(身体)アーチェリー、(知的)ボウリング、(身体)ボッチャ

<春大会(北信越・東海ブロック大会の団体競技予選会)>

(身体・知的・精神)バレーボール、(身体)車椅子バスケットボール、(身体)グランドソフトボール、(知的)バスケットボール、(知的)ソフトボール、(知的)フットソフトボール、(知的)サッカー

※北信越・東海ブロック大会は、全国障害者スポーツ大会の予選会

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫 1/2 県費1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,890	岐阜県パラスポーツ大会（春大会）1,959千円 人件費（春大会）931千円
合計	2,890	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画に「県内におけるパラスポーツ大会の充実」を記載。

第3期岐阜県障がい者総合支援プランに「障がい者の社会参加につながる、岐阜県パラスポーツ大会の開催」を記載。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「全国障害者スポーツ大会」の予選を兼ねた「岐阜県パラスポーツ大会春大会」を実施することでパラスポーツの裾野拡大や認知度の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①春大会参加者数	0	1375	1700	1700	1700	80%

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	「全国障害者スポーツ大会」の予選を兼ねて「岐阜県パラスポーツ大会春大会」を実施し、選手、役員等、計1216名が参加した。 県内における障がい者の社会参加とパラスポーツの振興を図った。
	指標① 目標：1700 実績： 1216 達成率：71 %
令和5年度	「全国障害者スポーツ大会」の予選を兼ねて「岐阜県パラスポーツ大会春大会」を実施し、選手、役員等、計1421名が参加した。 県内における障がい者の社会参加とパラスポーツの振興を図った。
	指標① 目標：1700 実績： 1421 達成率：83 %
令和6年度	「全国障害者スポーツ大会」の予選を兼ねて「岐阜県パラスポーツ大会春大会」を実施し、選手、役員等、計1375名が参加した。 県内における障がい者の社会参加とパラスポーツの振興を図った。
	指標① 目標：1700 実績： 1375 達成率：80 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	当該事業は全国障害者スポーツ大会及び、北信越・東海ブロック大会への予選、パラスポーツの競技力向上を図る役割をもっており、それぞれ継続して運営を支援する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	他の事業(全国障害者スポーツ大会)を含めたパラスポーツの取り組みとしては、期待どおりの成果があると評価できる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	例年実施している事業になるが、更なる効率化を図る。

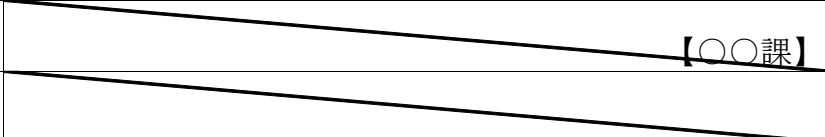
(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 東京2020パラリンピックで高まったパラスポーツへの関心を一過性のものとせず、スポーツを行う者だけでなく、誰もが参加できるイベントを実施する必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
障がい者の社会参加の推進及びスポーツ振興のために、継続的に実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

【〇〇課】